

# 福島南ロータリークラブ会報



国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー  
Mark Daniel Maloney

国際ロータリー第 2530 地区ガバナー 芳賀 裕

福島南ロータリークラブ 会長 鈴木 光一 幹事 菅野 良二  
目標「奉仕の心で人との繋がりを大切にしよう」

会員 / 75 名 出席 / 48 名 出席率 / 64.00%

マークアップ / 27 名 修正 / 75 名 修正後率 / 100%

## 会長挨拶 鈴木 光一 会長



福島成蹊高校の皆様ようこそいらっしゃいました。昨日の高校野球秋季大会で成蹊高校野球部が9回裏で逆転されましたが3対2で惜しくも優勝を逃してしまいましたが東北大会出場おめでとうございます。春の甲子園への夢がかなうよう応援をしております。メキシコからの青少年交換留学生のミゲル君も初日から自転車で大笹生のホストファミリーの加藤様宅から無事通学出来たとの智美先生からメールを頂き安心しました。10月20日の奉仕活動で猪苗代湖の水草回収作業にも参加して頂けれと思っております。成蹊高校の皆様にも親切にして頂いているとのことと合わせて感謝申し上げます。10月5日(土)には第29回国際交流フェスティバル「ザ・まつり in 飯坂」が飯坂で開催されます

芳賀ガバナーより依頼が来ておりました。国内最大規模の中南米音楽祭「コスキン・エン・ハボン」の開会式パレードにミゲル君をおつれてはとの事で菅野幹事と安齋青少年奉仕委員長・横山カウンセラーと相談をしてお連れしたいと思っております。本日は、奨学金及び認定書授与・私の夢発表・インターアクト年次大会報告とありますので成蹊高校の皆様宜しくお願い致します。

## 福島成蹊高校 / 奨学金授与



鈴木光一会長より福島成蹊高等学校3年生一條花乃さん2年生金山歩夢さん1年生鈴木穂乃香さんの3名に福島南RC奨学金及び奨学生認定書授与が行われました。その後3人の「私の夢」の発表がありました。  
**一條花乃さん** / 「私の将来の夢は、英語が使えるイベントスタッフになることです。部活動などで、外国の方と接する機会をたくさんいただきましたがいざコミュニケーションをとると上手く言葉で伝えることができず、悔しい思いをしました。これをきっかけに、外国語を一から学んで将来大好きな音楽イベントを運営する時に役立たせたいと思うようになりました。この度、奨学生になれたことにとっても感謝しています。残りの高校生活も自分の夢に向かって様々なことに積極的に取り組んでいきます。」

**金山歩夢さん** / 「私は社会に出て様々な国の人々と英語でコミュニケーションを取りたいと思っています。ただ英語の勉強をするだけでなく話す・聞く能力をもっと高めていきたいと考えています。11月にはマレーシアの研修旅行があり、そこでそっと英語力を伸ばし、将来につなげていけたらと思います。今後もインターアクト部の活動に参加し様々な研修を通して、自分を高めていきたいです。」

**鈴木穂乃香さん** / 「私の夢は獣医師になることです。小さい頃から動物が大好きだったことと震災によって被害をうけた動物を助ける獣医師さんをTVの番組で見たことがきっかけです。その夢を実現する為に今年の夏初めて動物看護専門学校のオープンキャンパスに参加したり、震災後家族の元へ帰れなくなった犬や猫を保護しているボランティアに参加しました。ここで学んだことは、動物関係の仕事をするうえで動物を愛さなければならぬこと、動物の気持ちを考えつつコミュニケーションをとらなければならないことです。私は一匹でも多く尊い動物の命を救える獣医師になるために、これから勉強に励み、夢を実現したいです。」

## ご挨拶 福島成蹊高校 校長/本田 哲朗 様



いつも成蹊高校インターアクトもお世話になっています。秋の野球大会で準優勝したほとんどの選手は地元の出身です。子供の力を引き出し準優勝できたことは本校の特徴でもあり、生徒の力は計り知れないものがあります。本校もこの春、東京大学に1名入学して文武両道の看板を掲げられる所まで来ました。地元の期待に応えられるよう教育活動をして参りたいと思います。教育は難しいですが、子供たちに夢を与えられる仕事ではないかと思ひます。子供が夢を持ちえない日本の発展はないので、それをむねとして今後やって参りたいと思ひます。本校でもカナダ・台湾・ベトナム・カンボジア、今年はマレーシアにも研修旅行として派遣します。

この旅行が生徒達が30代、40代になってその経験が生きてくる。日本の将来を考えるとこれを避けて通れない時代が来ていると思ひます。ご助言等があればよろしくお願ひします。

## 福島成蹊高校 インターアクト年次大会報告



**福島成蹊高校 IAC 顧問 鈴木 智美 様のご挨拶** / いつもインターアクトで活動に支援を頂きありがとうございます。奨学生一條は昨年のインターアクトクラブの副部長で、金山は今年の副部長です。インターアクト部の生徒が奨学生に選ばれるということで、本日校長が先程、話をした「文武両道」社会貢献活動も勉強も頑張る生徒がインターアクト部から出ているということで大変うれしく思ひます。ミゲル君も一週間がた色々な授業に出ています。1年~3年のそれぞれのクラスへ行けるようにして色々な授業に参加しています。職員室でも色々な教員が英語とスペイン語を交えて話をしてる等、新しい風が吹き始めています。南RCの皆様には貴重な機会を成蹊高校に与えて頂き感謝しています。

**福島成蹊高校 IAC 部長 菅野 有紗さん** / 4月19日オーストラリアリバーサイド高校の皆さんと交流しました。20年前に成蹊に1年間留学していたマンディさんがオーストラリアで日本語教師になられて、本校に生徒をつれていきたいという願ひからこの交流会が開催されました。私達は書道やコスプレ、かるた、けん玉などの日本体験ブースを作っておもてなしました。書道では、交流した方々のお名前を漢字にあてて筆で書く体験をしてもらいました。コスプレでは、ゆかたや本校の制服を着ていただき、日本の文化にふれつつ楽しみました。また、かるた、けん玉などの昔ながらの遊びを体験しながら、インターアクト部員とリバーサイド高校の皆様と交流を図ることができました。その中でも、オーストラリアの男の子がmyけん玉を持ってきてパフォーマンスをしてくれたんですが、とても腕がよくておどろきました。この国際交流を通して、マンディさんが第2の故郷と言ってくださったように日本を訪れた海外の方々がもっと日本に親しみを持ってくれるような貢献活動をしたと思ひました。このような活動ができてるのはロータリアンの皆様のおかげです。ありがとうございます。

**福島成蹊高校 IAC 副部長 阿部 華鈴さん** / 日頃の例会について報告します。7月10日の例会では、テーブルディスカッションをしました。各班がロータリアンの方々にインタビューをして、今後の生活や社会人になった時に活かせるようなお話をお聞きしました。そこで聞いた話を心に留めて世界で輝けるような社会人になれるよう今のうちから自分の力を高め私生活や活動の中で活かしていけるようになろうと思ひました。8月28日の例会では、たまのやの安齋様から冠婚葬祭の正しい意味を知ることができたので、これをきっかけに冠婚葬祭での礼儀やマナーを知っておくことも、社会人として大切なことだと思ひました。それから、IACの活動に多くの人が参加し学んだことを同じIACの部員に発信し、情報を共有していけるような部活にしていこうと思ひます

### 10月2日(水)の例会プログラム

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング
4. 四つのテスト唱和
5. 来訪者紹介と会長挨拶
6. 誕生祝い
7. ロータリーの友読みどころ
8. 新会員スピーチ
9. 会員スピーチ
10. 各委員会報告
11. 閉会点鐘

### — 例会予定 —

- ・ 10月2日(水) 誕生祝い、新会員スピーチ、会員スピーチ
- ・ 10月9日(水) 新会員歓迎夜間例会
- ・ 10月16日(水) ゲストスピーチ、米山奨学生スピーチ
- ・ 10月23日(水) 休会
- 地区・その他行事
- ・ 9月28~29日(土日) 日韓親善会議
- ・ 10月2日(水) 第1回バスト会長(指名準備委員会) / おりおり
- ・ 10月12日(土) 派遣学生選考会
- ・ 10月19日(土) 地区大会記念ゴルフコンペ